

農業者の皆様へ
難防除雑草

「ナガエツルノゲイトウ」の侵入に注意！

ナガエツルノゲイトウは南米原産の多年草(水生植物)で、非常に繁殖力が強く、水源のため池等で発生すると、農業用水路等を通じて水田や畦畔に侵入します。水田で繁茂すると稲の倒伏、減収、機械の作業性の低下に繋がります。



畦畔、用排水路、水田の給水口を巡回して早期発見・早期駆除に努めましょう。

見分け方のポイント



4月から10月にかけて柄の先に小さな球状の白い花をつける



葉の先はやや尖っている



茎から一対の葉が生える(対生)



茎の中心に空洞がある



ナガエツルノゲイトウは、特定外来生物に指定されています。
生きた個体の保管・運搬などは法律により禁止されています。

○ナガエツルノゲイトウと思われる植物を発見したら

兵庫県自然鳥獣共生課まで連絡してください。発見日時、発見場所、発見時の状況についてお知らせください(写真があれば良いです)。ナガエツルノゲイトウであるか確認します。

<新たにナガエツルノゲイトウを発見した場合の連絡先>

兵庫県環境部自然鳥獣共生課 電話：078-362-3389
shizenchoujuu@pref.hyogo.lg.jp

自然鳥獣共生課
メールアドレス→

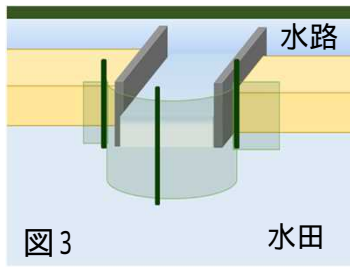
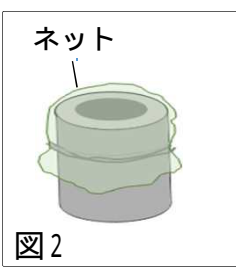


ナガエツルノゲイトウの水田における対策

水田に侵入させない

こまめに水路、水口、給水栓（口）周り等を見回り、侵入がないか点検しましょう。参考：おもて面 **見分け方のポイント**

水口、給水栓にネットや網（4mm目）を設置し、用水路等を通じた、茎や葉の侵入を防ぎましょう。給水栓（口）のネット（網）は適時確認し、たまった茎や葉等を取り除き、ゴミ袋に入れて完全に枯死させてから処分してください。



ナガエツルノゲイトウは、茎、根の切片・断片から再生可能です。2mmの根から再生した例もあります。断片の侵入を阻止しましょう。



(図1、2)給水栓(口)にネットをかぶせる

(図3)水口にネット(網)を設置する

水田や畦畔でまん延させない

抜き取り・剥ぎ取りによる駆除

発生初期では、根も浅いので、断片が残らないように全て掘りとり、ゴミ袋に入れ口を固く結び、完全に枯死させてから処分します。

特定外来生物のため、生きたままの運搬はできません。

除草剤による処理

水田内や畦畔で使用可能な除草剤を用いて防除します。いずれの薬剤も再生の初期段階に処理すると防除効果が高まります。

刈払機で除草すると断片が農地に拡散して再生します。

水稻栽培中の徹底防除は下記を組み合わせた体系処理が有効です。

使用時期	成分名等
初中期剤	ピラクロニルを含む薬剤
中後期剤	フロルピラウキシフェンベンジルを含む薬剤
稲刈り後	グリホサートを含む薬剤
水田畦畔	フロルピラウキシフェンベンジル、グリホサート（収穫まで）、DBNを含む薬剤

実際の使用にあたっては、適用場所や時期等ラベル記載事項を遵守してください。

河川敷や水路など水系に流出する恐れがある場所では使用できません。

【防除方法に関するお問合せ先】下記または最寄りの農業改良普及センターにご連絡ください。

兵庫県農林水産部農業改良課 電話：078-341-7711（内線3997）

兵庫県立農林水産技術総合センター農業技術センター農産園芸部（主作部門）

電話：0790-47-2400